

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公開番号】特開2011-42162(P2011-42162A)

【公開日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-137681(P2010-137681)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

B 4 1 J 2/52 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 B

B 4 1 J 3/00 A

B 4 1 J 5/30 C

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 1/40 D

G 0 6 T 1/00 5 1 0

G 0 3 G 15/01 S

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月22日(2013.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の色版データそれぞれを量子化処理して複数の量子化色版データを生成し、前記複数の量子化色版データの論理積を算出する論理演算手段と、

前記複数の色版データの積を算出する乗算手段と、

前記論理積から第一の低周波数成分を抽出する第一の抽出手段と、

前記積から第二の低周波数成分を抽出する第二の抽出手段と、

前記複数の色版データ、前記第一の低周波数成分、および、前記第二の低周波数成分に基づき、複数の補正色版データを生成する補正手段と、

前記複数の補正色版データそれぞれに前記量子化処理を施す量子化手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記第一および第二の抽出手段は、前記複数の色版データに対応する色版のずれ量に応じたローパスフィルタを用いて低周波数成分を抽出することを特徴とする請求項1に記載された画像処理装置。

【請求項3】

前記補正手段は、前記第一の低周波成分と前記第二の低周波成分との差分に基づき、前記複数の補正色版データを生成することを特徴とする請求項1または請求項2に記載された

画像処理装置。

## 【請求項 4】

前記複数の色版データに対応する色版のずれ量の周期が、当該複数の色版の間で生じるモアレの周期の1/6以下である場合に、前記補正手段を用いる処理を行うことを特徴とする請求項1から請求項3の何れか一項に記載された画像処理装置。

## 【請求項 5】

さらに、前記複数の色版データに対応する複数の色版のずれ量を取得する取得手段と、前記取得されたずれ量に基づき、前記複数の色版データに画像形成位置をずらす処理を行うシフト手段とを有する請求項1から請求項4の何れか一項に記載された画像処理装置。

## 【請求項 6】

複数の色版データそれぞれを量子化処理して複数の量子化色版データを生成し、前記複数の量子化色版データの論理積を算出し、  
前記複数の色版データの積を算出し、  
前記論理積から第一の低周波数成分を抽出し、  
前記積から第二の低周波数成分を抽出し、  
前記複数の色版データ、前記第一の低周波数成分、および、前記第二の低周波数成分に基づき、複数の補正色版データを生成し、  
前記複数の補正色版データそれぞれに前記量子化処理を施すことを特徴とする画像処理方法。

## 【請求項 7】

コンピュータを請求項1から請求項5の何れか一項に記載された画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明にかかる画像処理は、複数の色版データそれぞれを量子化処理して複数の量子化色版データを生成し、前記複数の量子化色版データの論理積を算出し、前記複数の色版データの積を算出し、前記論理積から第一の低周波数成分を抽出し、前記積から第二の低周波数成分を抽出し、前記複数の色版データ、前記第一の低周波数成分、および、前記第二の低周波数成分に基づき、複数の補正色版データを生成し、前記複数の補正色版データそれぞれに前記量子化処理を施すことを特徴とする。